



義務教育学校阿仁学園
令和6年度学校報



きらり

令和6年12月20日(金) No17
文責:校長

☆☆☆2学期末PTAへのご参加ありがとうございました

12月9日の2学期末PTAは授業参観のほか、秋田活性化中学生選手権のプレゼン発表、GABEZのMASAさんによる講演会、PTAバレーボール大会、おまけにのど自慢オンステージなど盛りだくさんの内容でした。お忙しいなか、多数お集まりいただき、本当にありがとうございました。これからも地域と共によりよい学校づくりを目指していきたくと思っています。



1〜3年 ふるさとかるたづくり



4年 メディアの使い方



7年美術 色相環作り



8年道徳「桃太郎の鬼退治」



県大会最優秀賞のプレゼン



渾身の「秋田の行事」



ワクワクのパントマイム



PTA親睦バレー大会



「のど自慢in阿仁学園」の感動!?!をもう一度

教職員4名で出場したNHKのど自慢予選の様子(NHKニュース)と学期末PTAでのステージ動画をアップします。見逃した方はどうぞ。



☆☆☆総合的な学習の時間「ふるさとPRプロジェクト」

7〜9年生の総合的な学習の時間では、昨年度の秋田活性化中学生選手権で発表した「阿仁ガチャ」を実現させる活動を行っています。2学期は、秋田犬ツーリズム、Anique代表の斎藤美奈子さんなどのお力を借りながら、道の駅あに、こぐま亭、ひまわり、高田食堂の魅力を発信するアイデアを考えました。3学期も阿仁ガチャの完成・設置を目指してプロジェクトを進めていきます。(このことについては12月17日(火)の秋田魁新報にて詳しく紹介されています。)



各グループに先生方も入り、真剣に企画会議



各グループのアイデアを紹介・共有

Topics

授業研究会



9年国語と8年英語で、生徒は先生方の視線を背中を感じながらに真剣に授業に臨みました。

国道105号起工式



国道105号大覚野峠バイパス起工式が仙北市で行われ、陽也さんが市代表で挨拶をしました。

球技大会



7～9年生 & 職員が阿仁バレーボール界の頂点を目指し、珍プレー & 好プレーを繰り広げました。

★心を一つにして演奏～アンサンブルコンテスト県北予選～

12月14日(土)大館市民文化会館で第47回秋田県アンサンブルコンテスト県北地区予選が行われました。阿仁学園からは、あんなさん、嵩悟さん、海蘭さん、晴眞さん、一馬さんが出場し管打五重奏を演奏しました。たくさんの観客が見守る中、練習の成果を存分に発揮し、銅賞を受賞しました。



「とっても素敵な演奏でした♪」

◆第66回秋田県児童生徒美術展

入賞作品は1月8～11日に秋田市文化創造館に展示されます。

<入賞>

1年 船橋 檜立 「カラフル金魚」	7年 武田 晴眞 「阿仁のデザートてんこ盛りアイス」
2年 戸嶋 結姫 「たきめぐり、がんばったよ」	7年 チョールトン レイモンド 「阿仁くワン」
3年 佐藤 智紘 「未来へ行ってきまーす!」	8年 田中 嶺羽 「きれいな阿仁川を感じよう!」
4年 佐京 寛哉 「野球号～ぼくのゆめをのせて～」	9年 市川 智英 「雨奇晴好」
5年 森本 楓奈子 「小さなりんごから飛び出した世界」	9年 チョールトン ゆき 「未来へのパズルピース」
5年 片岡 翔愛 「木の周りにとんでいるりゅう」	9年 中島 心音 「未来は大きい」
6年 佐藤 圭悟 「楽しいワイヤーパーク」	
6年 高堰 優作 「美し異人館」	

◆秋田県読書感想文コンクール大館北秋田地区コンクール

<特選>	3年 片岡 恵愛 「自分でえらぼう、ストロー大作戦」
	柏木 紅葉 「ねこの気持ちを考えて」
	9年 佐京 寛淳 「報われない努力などない」
<入選>	6年 高堰 優作 「思いを相手に伝える」
<佳作>	7年 武田 晴眞 「『吹奏楽部として過ごす』ということ」



寛淳さんの作品は青少年読書感想文全国コンクール秋田県地方審査でも優良賞を受賞しました。



球技大会にて。司会の心音くんが、「ここで、阿仁バレーボール協会会長の小林陽介様、ご挨拶をお願いします。」とアナウンス。そこで、はっと気付いた。

(挨拶があるってことを忘れてた) 汗

そこは困ったときの給食頼み。

「皆さん、明日の給食は何だと思いますか？」

「発表します。」(ドゥルルルル…ダウン!)

「そばろ井です!」(イエーイ!)

「今日は、そばろ井のように、ポロポロやらないように気を付けましょう!」(はい!)



実に苦しいスピーチである。が、上記の太字3か所、これら全て子どもたちの反応なのだ。この子たちには「発表者を孤独にしない」「発表者を一人ぼっちにしない」雰囲気がある。これは立派な校風だと思う。これからも、子どもたちには、反応することの大切さを伝えつつ、自分自身には、ちゃんと挨拶の準備をしておくよう言い聞かせようと思っている。